

平成28年3月31日

新城市長 穂積亮次 様

新城市総合計画審議会
会長 大 貝 彰

答 申 書

平成27年11月5日付け新企2・1・1で諮問のありました「新城市総合計画基本構想」における今後盛り込むべき視点、見直すべき事項等について当審議会において審議した結果がまとまりましたので、下記のとおり答申します。

記

1. 新城市総合計画基本構想について

平成17年10月の市町村合併に伴う市民の期待や不安、新市の厳しい財政状況、国の地方分権改革の推進などの社会経済情勢の中、新しい地方自治を展望して策定された第1次新城市総合計画基本構想は、「新たな公共が導く市民自治社会の実現」をまちづくりの基本理念に掲げ、これまで着実にその歩みを進めていると実感しています。

新城市の新たな基本構想については、基本的には第1次新城市総合計画基本構想に掲げた将来像「市民がつなぐ山の湊創造都市」を継承するとともに、社会経済情勢の変化、とりわけ地方自治に影響のあった重要な出来事を踏まえた将来展望を行い、さらなるステップアップにつながる魅力的な基本構想となるよう、以下の点に留意して策定にあたられますよう要望します。

- (1) 新城市自治基本条例に基づき策定されたい。
- (2) 新城市民憲章を尊重されたい。
- (3) 第1次新城市総合計画の成果や問題点等を確実に評価・検証されたい。
- (4) まちづくりの方向性、ビジョン等が市民・職員にとってわかりやすい内容となるようまとめられたい。

2. 今後盛り込むべき視点、見直すべき事項等

新城市の新たな基本構想を策定するにあたり、目的が達成されたものは外し、継続すべきものは継続する、新たな問題や深刻化している問題を新規に掲げるなど事業の組替えをしていくという考えのもとに審議し、以下のとおりまとめました。

(1) 今後盛り込むべき視点

- ・「新城市人口ビジョン」の考え方に基づく将来を見据えた長期的な施策だけでなく、現在において喫緊の問題となっている人口減少不安への短期的な対応策。
- ・土地利用について、若者の定住促進に障害となるような規制の見直しや、優良企業の進出を促すための適切な規制又は緩和策を講じること。
- ・環境首都創造の環境という言葉をもとに、エコロジーやエネルギーなどに限定せず、自然環境や生活環境を含めた枠組みで捉え、地域資源として活用し地域の経済に還元していくこと。
- ・事業を実施する際には、地域との連携や他の事業とのコラボレーションなどによる魅力度アップの相乗効果を図るとともに、新城市全体としての魅力を高めることにつなげていこうという意識。
- ・市民自治社会づくりの基礎的役割としての地域自治区制度の継続的発展により、地域が組織として力を発揮し、地域の多様性や特性を活かすまちづくり。
- ・新東名高速道路だけでなく、今後開通が見込まれるリニア中央新幹線及び三遠南信自動車道も交流人口増大や雇用創出のチャンスと捉え、静岡方面や飯田方面など県境を跨いだ交流・連携の促進及び効果的なPR、宣伝力の強化。
- ・まちづくりのためのデータ収集と分析。(新城市の人口動態、事務事業の効果、新城インターやパーキングエリアの利用状況等)
- ・市民が共有できる新城市のまちづくり重点テーマの設定。

(2) 見直すべき事項

- ・計画が実現できなければ意味がないので、チェック機能を充実し、必ず結果を出すためのPDCAシステムを整え、市としての成長につなげること。
- ・重点プロジェクトと事務事業とのつながりを明確にすること。
- ・行政組織が横のつながりを持って連携し、施策が横断的に考えられていくことで市民満足度を高めていくようなシステムに転換すること。

以上、市民と行政が夢を共有し、実現する喜びを分かち合うことのできる基本構想となることを切に願い、審議会答申とします。

なお、今回の答申に係る審議資料等は別添のとおりです。

（審議経過）

当審議会は、平成27年11月5日に諮問事項の審議方法について検討した結果、まずは当審議会市民部会（以下「市民部会」という。）において、第1次新城市総合計画基本構想に掲げる各項目と新城市を取り巻く現在の状況、取り組みの成果などについて調査検討を行い、その結果を基に答申に係る審議を行うこととしました。

市民部会では、平成27年12月1日、12月21日、平成28年1月15日の3日間にわたり第1次新城市総合計画基本構想について調査検討を行い、「平成27年度新城市総合計画審議会答申に向けた検討結果」をまとめました。

平成28年2月25日の審議会において、市民部会からの報告を基に新城市総合計画基本構想について今後盛り込むべき視点や見直すべき事項等の意見集約を行い、平成28年3月9日に市民部会での答申案検討を経て、最終的に3月31日の審議会において答申をまとめました。

なお、審議にあたっては、市民部会での進捗状況を含めた検討に係る全ての情報を委員全員が共有しながら意見集約を図り、慎重な審議に努めてまいりました。

（付属資料）

- ・ 第1回新城市総合計画審議会会議録（概要版）
- ・ 答申に向けての検討項目
- ・ 計画の構成と期間について検討するための参考として
- ・ 第1回新城市総合計画審議会市民部会報告書
- ・ 第2回新城市総合計画審議会市民部会報告書
- ・ 第3回新城市総合計画審議会市民部会報告書
- ・ 平成27年度新城市総合計画審議会答申に向けた検討結果
- ・ 第2回新城市総合計画審議会会議録（概要版）
- ・ 第4回新城市総合計画審議会市民部会報告書
- ・ 第3回新城市総合計画審議会会議録（概要版）